

# 滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンター通信

令和2年12月14日

No. 221

## 滋賀県 COVID-19 災害コントロールセンター 医療コントロール部 松原 峰生

12月3日から10日まで、札幌市保健所へクラスター対策支援に行ってきました。札幌市190万（滋賀県140万）で連日陽性者が100人以上でている状況でした。ホテル、病院軽症者ベッド、病院重症者ベッドすべて90%以上の状況でした。今も状況はあまりかわっていません。そのため施設や一般病院で、新型コロナウイルス陽性を抱え込んで対応せざるを得ない状況が続いています。施設や各病院で適切に対応できるように保健所職員が施設や病院に出向き施設のゾーニング、職員への感染症対応の教育を繰り返しおこなっています。しかしゾーニングも教育も完璧とはなかなかいかず、このためか各施設や病院でなかなかクラスターが収まりません。北海道全体では空きベッドもあるのですが、北海道全域を視野に保健所の医療圏をまたがっての患者調整は、広域搬送になるためかおこなっていない状況です。保健医療圏をまたがっての感染症対応可能病院への患者分散が非常に大切なことがあらためてよくわかりました。

また施設や病院での人手不足の原因に、『濃厚接触者』の問題があります。感染症2類相当であるため『濃厚接触者』の同定、出勤停止14日間のルールが必須となります。一人陽性者が出ると5人から10人の『濃厚接触者』がでます。残った人たちだけで施設や病院の業務を維持することは、いきなり施設や病院側に多大な負担をかけます。札幌市では保健所承認のもと、『濃厚接触者』が勤務せざるを得ない状況になっており、施設や病院が、更衣室、休憩室を別にしての対応をしています。

滋賀県でもいまや、『いつどこで誰が感染してもおかしくない』状況です。滋賀県のクラスター対策として今後も、陽性者は素早く感染症対応病院へ移動させる方針です。各施設、病院においては、感染が判明したとき『濃厚接触者』を一人でも増やさない様に普段からお互い感染症を意識して勤務や休息をとってください。

※本日の陽性判定患者数：4名

発行者：滋賀県 COVID-19

災害コントロールセンター広報係

入院状況 2020.12.14 (月) 20:30 現在					
医療機関名	病床数	入院数	空床数		
指定医療機関	市立大津市民病院	18	13	5	指 定 医 療 機 関
	済生会滋賀県病院	6	2	4	
	彦根市立病院	35	9	26	
	近江八幡市立総合医療センター	4	0	4	
	長浜赤十字病院	14	9	5	
	公立甲賀病院	18	0	18	
	高島市民病院	15	6	9	
その他	JCHO 滋賀病院	2	2	0	そ の 他
	大津赤十字病院	4	1	3	
	滋賀医科大学附属病院	11	1	10	
	滋賀県立総合病院	22	12	10	
	市立長浜病院	13	2	11	
	長浜市立湖北病院	0	0	0	
	大津赤十字志賀病院	20	4	16	
	滋賀県立精神医療センター	1	0	1	
	東近江総合医療センター	20	2	18	
	草津総合病院	10	4	6	
計	17医療機関	213	67	146	

自宅等療養者数	0	宿泊施設入所者	15
自宅待機者数	0	疑似症・その他	10

入院者重症度状況 患者数 2020.12.14 (月) 20:30 現在							
日付	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
S I	16	14	16	13	11	13	16
S II	26	29	30	33	35	34	34
S III	6	4	4	4	4	5	6
S IV	2	2	1	1	1	1	1
S V	0	0	0	0	0	0	0